

コミュニティ・スクールだより

No.6

地域学校協働活動の様子

地域の住民や団体の皆様の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えていただいております。どの取組も、地域との“つながり・きずな”が実感できるものです。その一部を紹介いたします。

下見地区再発見（歴史散策ウォーキング大会）

11月下旬ともなると朝夕の冷え込みも強まり、周りの山々の紅葉が目にとまるようになってきました。そんな日曜日、三ツ城住民自治協議会主催の「歴史散策ウォーキング大会」が開かれました。このイベントは、“れきし散策マップ”を片手に校区内およそ5kmを散策しながら、知っているようで知らない下見地区の寺社や石碑などを、歴史を紐解きながら巡る企画です。

リーダーの渡辺良範先生を先頭に、三ツ城地域センターを出発し《鴻巣地藏堂→下見稻荷神社→築地神社→明顕寺→下見大池→若宮神社→番蔵川》と、近くに住まわれている方や縁の深い方の歴史話しなども聞きながら、約3時間をかけて

歩を進めました。今回散策した下見地区は、古くは「賀茂郡下見村」と呼ばれ、少し北側には西国街道（山陽道）が東西に走り、米作りが盛んであったということもあって、由緒ある神社・仏閣、歴史を感じさせてくれる建物や石碑などが点在しています。

秋の日差しに包まれ、絶好のウォーキング日和となりました。企画運営してくださった、住民自治協議会の皆様ありがとうございました。



風を切って（校内持久走大会）

12月初旬時折冷たい風が吹きつける中、校内持久走大会を行いました。毎年この時期、「一定の時間を長く走ることにより、持久力を高める」「自己の能力に適した課題をもって走る」ことを“ねらい”として行っている学校行事です。

持久走大会では、1・2年生は1200m、3・4年生は1500m、5・6年生は2000mの距離を走ります。大会が始まる頃には、コース周辺にたくさんの保護者の方々が応援にこられていました。スタートの合図で子供たちが走り出すと、「まだまだいける!」「ナイスラン!!」「大きく腕を振って!」「よく足が動いてるぞ!」など拍手を交えた大きな声援が飛び交いました。

子供たちは11月中旬より、朝会や体育の時間などを使って練習を積み重ねてきました。長距離走は「疲れるから苦手」「息が苦しくなるから好きじゃない」という子もいましたが、みんな一生懸命ゴールを目指して最後まで走り抜きました。

平日にもかかわらず、寒い中応援にきていただいた保護者の皆様、子供たちのサポートにあたっていただいた広大生の皆様、ありがとうございました。

